

2024 年度 年次報告書

東京理科大学国際化推進機構・国際化推進センター

* 目 次 *

国際化推進センター長挨拶	4
国際化推進機構・センター概要	5
国際化推進機構中期計画	6
< 1. 海外教育研究機関との連携 >	8
(1) 海外協定校	8
(2) 教員交流の推進	10
① 協定校への派遣教員事業	10
② 外国人招へい教員事業	10
③ 外国人招へい教員（オンライン）事業	11
< 2. 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充 >	12
在外研究員派遣事業	12
< 3. 学生の国際競争力を高めるプログラム整備 >	14
(1) 長期派遣・受入プログラム	14
① ダブルディグリープログラム	14
② 海外教育研究機関への派遣・受入	16
③ カリフォルニア大学 1 年留学プログラム	18
(2) 短期留学プログラム	19
① 語学研修プログラム	19
② グローバル研修プログラム	21
(3) 世界を身近にする環境整備	23
インターナショナルラウンジ	23
< 4. 大学院生の国際会議発表の促進 >	28
大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業	28
< 5. 若手研究者の国際会議派遣の推進 >	30
若手研究者国際学会派遣事業	30
< 6. 外国人教員の増員並びに研究室の国際化の推進 >	32
(1) 外国人教員の雇用	32
外国人教員の雇用状況	32

(2) 外国人留学生獲得による研究室の国際化の推進	33
①国費外国人留学生制度	33
②マレーシアツイニングプログラム	34
③IAESTE による海外学生の受入れ.....	34
④独立行政法人国際協力機構 (JICA) 事業による海外学生の受入れ.....	35
⑤国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)	
「国際青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプログラム: SSP)」	35
⑥さくらサイエンスプログラム双方向交流派遣	36
⑦ビザ取得支援	37
⑧学内宿泊施設の管理・利用促進.....	37
 (3) 英語を用いた指導による研究室の国際化の推進.....	38
教員向け実務英語研修.....	38
 <7.その他>	39
(1) 学生への情報提供の充実.....	39
①留学・国際交流パンフレットの作成、Web サイトの更新	39
②チャットボットの導入・活用	39
③LINE	39
 (2) 海外留学等における危機管理のための施策	40
J-TAS 利用.....	40
 (3) 学外団体の利用	41
①トビタテ！留学 JAPAN 新日本代表プログラム.....	41
②日本学生支援機構 (JASSO) 留学生支援事業	41
③日本学術振興会 (JSPS)	41
④JAFSA	42
⑤JCSOS.....	42
⑥IAESTE.....	42
⑦米国非営利教育財団スタディ・アブロード・ファウンデーション(SAF)	43
 (4) 外国人留学生数.....	44
外国人留学生数の状況.....	44

国際化推進センター長挨拶

国際化推進センター長 牧内 博幸

日本国政府は内外の大きな情勢変化を受け、また科学技術力が引き続き低迷している中、中長期的観点から国際卓越研究大学などを選定して大々的に大学支援を行う他、近年の地政学的な変化を受けてインドなどを中心とするグローバル・サウス諸国との科学技術協力を進めようとしています。

今後の大学の国際化の推進に際しては、上記のような国際的な潮流から外れては大きな効果は望めません。特に、政府による国際卓越研究大学等の選定においては、まず国際面での実績を求められることから、本学では、P.6～7 に示す「中期計画 2026 国際化重点課題・継続課題」の 5 つの取り組みを推進していく所存です。

また、本学の国際協力重点地域として、広く英語が使用されており、今後の更なる成長への期待と多様かつ豊富な人的資源を擁するインドと具体的協力関係を構築することを検討していきます。

学内の英語学習環境の整備については、英語授業が必修化された新しい小学校学習指導要領のもと、小学校から英語を学んだ学生が 2027 年以降に入学してくることから、彼らの要求に耐えうる英語を通じた講義が行えるよう、鋭意、大学院生や若手教員の英語学習に資する海外派遣計画等を積極的に推進して参ります。あわせて、国際化の主役である学生の外国語学習への意欲を引き出すため、引き続き多くの講義の中で担当教員からその重要性（企業の英語公用化の動き、将来の職業選択時の選択肢の拡大、及び外国人研究者との共同研究によるイノベーションの促進など）を啓発頂くよう、学内の会議体等を通じて周知していきます。

更に、春夏の短期海外語学研修の参加者の多くが、語学学習の重要性を痛感して帰国し、その後の語学学習で大きな成果を出していること、また、多くの世界の友人をつくと同時に海外渡航へのハードルを下げて帰国していることから、今後も海外語学研修への支援及び啓発を行うと同時に、学内各キャンパスに開設しているインターナショナルラウンジでの英会話学習の利用を促進していきます。

この他、他大学での成功事例を参考に、学生の父母に語学学習の重要性をご理解いただくため、父母懇談会などを通じてその重要性を強く訴えて参ります。

昨今の急激な円安と物価高により、いずれの国際交流活動を実施するにも大変厳しい環境となっています。限られた財源の中で積極的に事業展開を行いつつ、鋭意学内財政当局に必要な財政支援措置を求め協議を続けていきます。あわせて、外部資金の利用についても従来同様全学的に積極的に進めますが、学生の海外体験の提供という観点からは国際協力機構（JICA）の海外協力隊派遣事業等も効果的と考えますので、これらの事業へのチャレンジも含め、学生の海外での挑戦を後押しします。

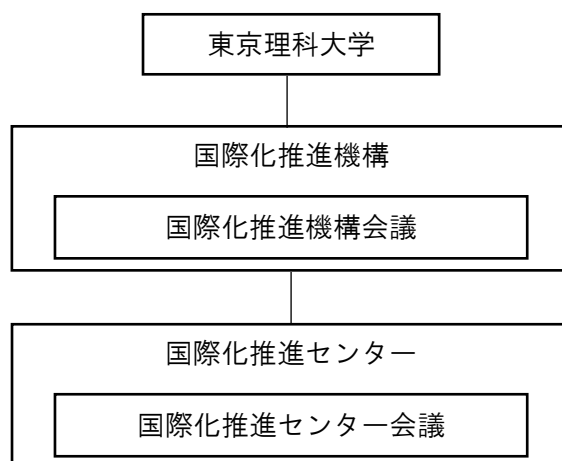
本報告書は、2024 年度における「東京理科大学国際化推進センター」の活動を取りまとめたものとなります。国際化推進センターでは、引き続き国際化の推進のため各種支援を充実させていきますが、より良い環境の実現のためには、学内のすべての教職員や学生の皆さまのご協力が不可欠となります。

今後とも、国際化推進センターの運営に一層のご協力をよろしくお願いいたします。

国際化推進機構・国際化推進センター概要

1. 組織

(1) 組織図



(2) 国際化推進機構

国際化推進機構は、本学における国際化推進施策及び戦略を企画立案するとともに、全学的な観点からグローバル人材の育成と、国際連携を推進し、本学の国際的地位の向上を図ることを目的に、2015年4月に設置された。本学の国際化を全学一体となって推進するため、「学校法人東京理科大学中期計画 2026」をもとに、2022年度から2026年度までの5年間に実施すべき国際化推進の方針、目標、具体的施策の立案に取り組む。

【国際化推進機構会議】

国際化推進機構に、機構の運営に関する事項を審議するため、国際化推進機構会議（以下「機構会議」）を置く。機構会議は、次に掲げる事項を審議する。

- ① 国際化推進方針及び国際化推進戦略の策定に関する事項
- ② 機構の事業計画に関する事項
- ③ センターの設置及び改廃に関する事項
- ④ 機構の人事に関する事項
- ⑤ 機構に関する諸規程等の制定及び改廃に関する事項
- ⑥ その他機構の管理・運営に関する事項

(3) 国際化推進センター

国際化推進機構に国際化推進センター（以下「センター」）を置き、本学における国際化推進に係る諸施策を実施するとともに、学生及び教職員の国際活動を支援し、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的に、以下の活動を行う。

- ① 学生の海外派遣及び受入れに関すること
- ② 教職員の海外派遣及び受入れに関すること
- ③ 外国の大学等教育研究機関との国際交流協定に関すること
- ④ 学生の語学留学プログラムに関すること
- ⑤ その他本学の国際化推進に関すること

(4) 予算（当初配分額）及び執行額

2024 年度 国際化推進機構（国際化推進センター）

予 算：105,764,000 円

執行額：105,764,000 円（執行率 100%）

2. 国際化における重点課題・継続課題（中期計画 2026 をもとに）

(1) 「学校法人東京理科大学中期計画 2026」の中における国際化の重点課題

2022 年の 3 月に策定した「学校法人東京理科大学中期計画 2026」には、法人・大学が一丸となって取り組む目標や課題がまとめられている。その中で、本学の国際化は、「グローバルな社会において多様な人々と交わり共創できる力」に資するものとの位置づけである。今期（2022～2026）中は、下記 2 つの課題に重点的かつ優先的に取り組むことが求められている。

- ① 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充
- ② 学生の国際競争力を高めるプログラム整備

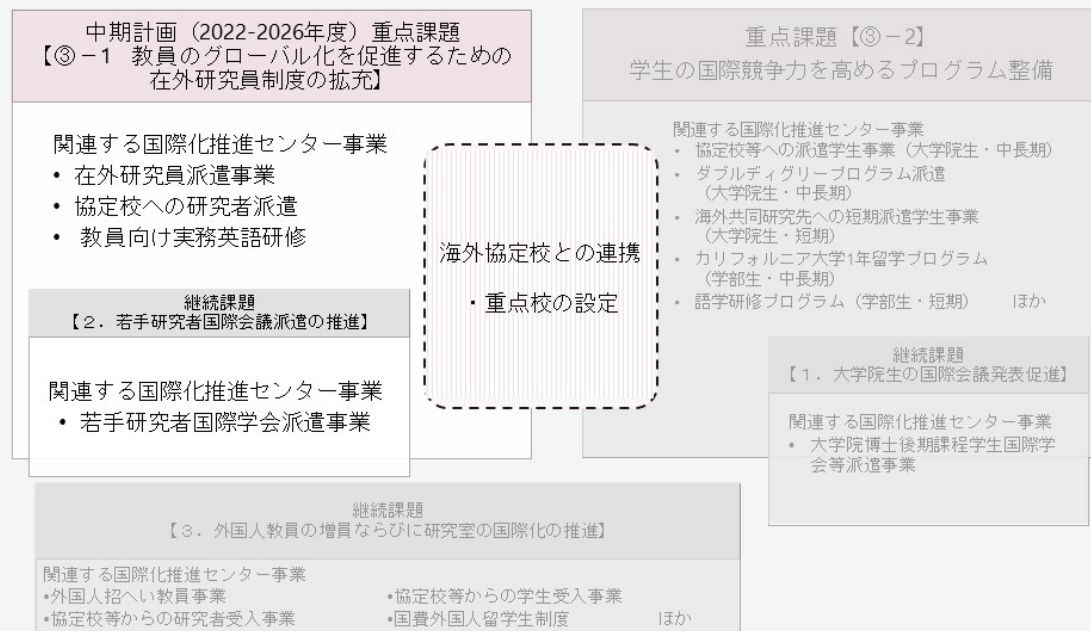
(2) 国際化における継続課題

上記に上げた 2 つの重点課題の他、継続的に取り組むべき具体的な課題として下記の 3 つが設定されている。

- ① 大学院生の国際会議発表促進
- ② 若手研究者国際会議派遣の推進
- ③ 外国人教員の増員ならびに研究室の国際化の推進

国際化推進センターの各事業と、中期計画 2026 における各課題との関係をまとめたものが、次の図である。

学校法人東京理科大学 中期計画2026 国際化重点課題



学校法人東京理科大学 中期計画2026 国際化重点課題

重点課題
中期計画

③-1 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充

③-2 学生の国際競争力を高めるプログラム整備

継続的に取り組む
重要課題

1. 大学院生の国際会議発表促進

2. 若手研究者国際会議派遣の推進

3. 外国人教員の増員ならびに研究室の国際化の推進

< 1. 海外教育研究機関との連携 >

(1) 海外協定校

2025 年 2 月 1 日現在、31 か国・地域の 81 大学 3 機関と協定を締結しており、教職員及び学生の交流、共同研究、情報交換等を行っている。

【地域・国別協定校数】

(地域・国は五十音順)

地域	国名	協定	地域	国名	協定
アジア	インド	3	欧州	フィンランド	1
	インドネシア	3		フランス	8
	韓国	7		ブルガリア	1
	シンガポール	1		ポーランド	1
	タイ	4		ポルトガル	1
	台湾	5		モルドバ共和国	1
	中国	13		リトアニア共和国	1
	ベトナム	1		ルーマニア	3
	マレーシア	2		ロシア	1
	計	39		計	36
欧州	アイルランド	1	中南米	コスタリカ	1
	イタリア	3		ドミニカ共和国	1
	イギリス	2		ブラジル	1
	オーストリア	2		計	3
	カザフスタン	1	北米	アメリカ	4
	スペイン	3		カナダ	2
	スロベニア	1		計	6
	ドイツ	5	総計		84

協定校一覧

インド	インド国立化学研究所	イギリス	ブルネル大学
インド	チョウドリ・チャラン・シン大学	イギリス	キングストン大学
インド	インド理科大学院	オーストリア	ウィーン工科大学
インドネシア	バンドン工科大学	オーストリア	アッパーオーストリア応用科学大学
インドネシア	アイルランガ大学	カザフスタン	カザフ国立大学
インドネシア	カリマンタン工科大学	スペイン	カタルーニャ工科大学
韓国	高麗大学	スペイン	マドリード工科大学
韓国	成均館大学	スペイン	ハエン大学
韓国	湖西大学	スロベニア	リュブリアナ大学
韓国	ソウル大学校	ドイツ	ハノーファー大学
韓国	韓国中央大学	ドイツ	科学技術・経済・デザイン・ヴィスマール専門大学
韓国	釜山大学	ドイツ	ロストック大学
韓国	誠信女子大学	ドイツ	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学
シンガポール	シンガポール工科デザイン大学	ドイツ	イエナ応用科学大学
タイ	チェンマイ大学	フィンランド	ヘルシンキ大学
タイ	チュラロンコン大学	フランス	トゥルーズ建築学校
タイ	モンクット王工科大学ラカバン校	フランス	リール建築大学
タイ	アジア工科大学	フランス	パリ・ベルヴィル建築大学
台湾	国立陽明交通大学	フランス	リール中央工科大学
台湾	国立中興大学	フランス	ナンシー建築大学
台湾	台北医学大学	フランス	国立宇宙航空大学院大学
台湾	台北科技大学	フランス	ストラスブール大学
台湾	国立地震工学研究センター	フランス	パリ第1（バンテオンーソルボンヌ）大学
中国	新疆大学	ブルガリア	ブルガリア科学アカデミー
中国	天津大学	ポーランド	アダム・ミツキェヴィチ大学
中国	上海交通大学	ポルトガル	リスボン工科大学
中国	中国石油大学（北京）	モルドバ共和国	モルドバ工科大学
中国	浙江大学	リトアニア共和国	ヴィリニウス大学
中国	鄭州大学	ルーマニア	アレクサンドル・ヨアン・クザ大学
中国	西安交通大学	ルーマニア	ブカレスト工科大学
中国	北京科技大学	ルーマニア	ヤシ工科大学
中国	大連理工大学	ロシア	モスクワ電力工学研究所（工科大学）
中国	曲阜師範大学	コスタリカ	コスタリカ大学
中国	中国科学院大学	ドミニカ共和国	カトレカ・マドレ・マエストラ大学
中国	大連医科大学	ブラジル	サンパウロ大学
中国	湘潭大学	アメリカ	メリーランド大学
ベトナム	国立土木工学大学	アメリカ	カリフォルニア大学デイビス校
マレーシア	マラヤ大学	アメリカ	コネチカット大学
マレーシア	国際医療大学	アメリカ	スタンフォード大学医学研究科睡眠研究所
アイルランド	メイヌース大学	カナダ	ウォータールー大学
イタリア	モデナ・レッジョ・エミリア大学	カナダ	サスカチュワン大学
イタリア	カリアリ大学		
イタリア	ローマ・トル・ヴェルガータ大学		

(2) 教員交流の推進

①協定校への派遣教員事業

本学教員と協定校の教員の共同研究の推進、及び交流に関する打合せ等を目的としている。

【国際化推進センター負担経費】

航空賃：エコノミークラスの往復航空賃（空港までの国内旅費を含む）

日 当：派遣先地域によって支給額が異なる

宿泊費：派遣先地域によって支給額が異なる

※派遣先機関から旅費が支給される場合は、重複する費目は支給しない。

【2024 年度実績】

派遣教員数：4 名

国際化推進センター予算執行額：1,670,583 円

	所属	職名	派遣先国	派遣先大学	派遣期間			日数
1	工学部電気工学科	教授	ドイツ	オストバイエルンレーゲンスブルク工科大学	2024年10月1日	～	2024年10月11日	11
2	工学部電気工学科	教授	ルーマニア	アレクサンドル・ヨアン・クザ大学	2024年10月6日	～	2024年10月23日	18
3	先進工学部マテリアル創成工学科	嘱託助教	韓国	高麗大学	2024年11月13日	～	2024年11月18日	6
4	経営学部国際デザイン経営学科	准教授	ロンドン	ブルネル大学	2025年3月7日	～	2025年3月14日	8

②外国人招へい教員事業

外国の学界で活躍する優れた外国人教員等を本学に一定期間招へいすることで、当該学部および研究科等の国際化推進に寄与することを目的としている。

【国際化推進センター負担経費】

航空費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費：日額 10,000 円～12,000 円（客員宿舎を利用しない場合は 15,000 円～17,000 円）

【2024 年度実績】

招へい者数：11 名

国際化推進センター予算執行額：4,831,478 円

	学部・研究科	学科・専攻	招へい研究者所属機関名	招へい研究者職名	招へい元国名	招へい期間			滞在日数
1	創域理工学部	情報計算科学科	Linnaeus University	教授	スウェーデン	2024年4月15日	～	2024年4月27日	13
2	先進工学部	機能デザイン工学科	国立台湾師範大学	助教授	台湾	2024年5月4日	～	2024年5月19日	16
3	創域理工学部	生命生物科学科	City University of Hong Kong	准教授	香港	2024年5月29日	～	2024年6月2日	5
4	先進工学部	生命システム工学科	トリノ大学	教授	イタリア	2024年6月7日	～	2024年6月23日	17
5	創域理工学部	情報計算科学科	Institute of Marine Research	研究教授	ノルウェー	2024年7月14日	～	2024年8月2日	20
6	理学部第一部	数学科	Claremont McKenna College	教授	アメリカ	2024年7月14日	～	2024年8月4日	22
7	工学部	建築学科	マドリード工科大学	准教授	スペイン	2024年7月18日	～	2024年8月11日	25
8	工学部	建築学科	Maryland Institute College of Art	教授	アメリカ	2024年9月8日	～	2024年10月6日	29
9	創域理工学部	建築学科	The University of British Columbia	助教授	カナダ	2024年11月3日	～	2024年11月22日	20
10	薬学部	薬学科	Iowa State University	准教授	アメリカ	2024年12月9日	～	2024年12月13日	5
11	創域理工学部	情報計算科学科	Middlesex University	准教授	イギリス	2024年12月9日	～	2024年12月22日	14

③外国人招へい教員（オンライン）事業

優れた教育研究の実績を有する外国人数員・研究者を本学にオンラインで招へいし、英語による専門分野の講義・講演等の実施を通じて、オンラインを活用した教育・研究活動の経験を共有し、当該学部および研究科の教育研究の国際化を推進することを目的としている。

※2025 年度の募集はなし。

【国際化推進センター負担経費】

謝 金 : 講義・講演 1 回につき、20,000 円～30,000 円

海外送金手数料：実費

【2024 年度実績】

招へい者数：4 名

国際化推進センター予算執行額：136,000 円

	学部・研究科	学科・専攻	招へい研究者所属機関名	招へい研究者職名	国名	招へい期間		実施 コマ数
1	理学部第二部	化学科	Termez State University	教授	ウズベキスタン	2024年9月19日	～ 2024年9月19日	2
2	先進工学部	生命システム工学科	A*STARシンガポール科学技術庁	主席研究員	シンガポール	2024年12月9日	～ 2024年12月13日	1
3	経営学部	国際デザイン経営学 科	University of Technology Sydney (UTS)	教授	オーストラリア	2024年12月9日	～ 2025年1月23日	2
4	理学部第二部	化学科	Haldia Institute of Technology	准教授	インド	2025年1月15日	～ 2025年1月15日	1

＜ 2. 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充＞

在外研究員派遣事業

東京理科大学の専任教員を海外に一定期間派遣し、専門分野に関する研究に専念させる機会を与え、教員の教育及び研究能力を向上させるとともに、当該事業での経験を活かし、外国語による専門科目の講義・研究指導が行える教員を養成すること、及び派遣先大学等学術研究機関と将来にわたり共同研究を遂行するための基盤を構築することを目的としている。

【国際化推進センター負担経費】

渡航費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費：月額 20 万円または 25 万円

※派遣先地域によって支給額が異なる

【2024 年度実績】

(任期の定めのない教員)

採択 8 名

実施 8 名 予算執行額：10,631,253 円

	学部・研究科	学科	職名	受入研究機関	国・地域名	派遣期間			派遣日数
1	創域理工学部	先端物理学科	准教授	Max-Planck Institute	ドイツ	2024年6月25日	～	2024年8月24日	61
2	創域理工学部	情報計算科学科	講師	National Electronics and Computer Technology Center (NECTEC)	タイ	2024年4月1日	～	2024年10月1日	184
3	創域理工学部	生命生物科学科	准教授	Medical University of Graz	オーストリア	2024年5月25日	～	2024年8月25日	93
4	創域理工学部	電気電子情報工学科	准教授	Interuniversity Microelectronics Centre (imec)	ベルギー	2024年11月16日	～	2025年3月31日	136
5	創域理工学部	社会基盤工学科	准教授	Indian Institute of Technology Bombay	インド	2024年10月8日	～	2025年3月26日	170
6	教養教育研究院	神楽坂キャンパス 教養部	准教授	Uppsala University	スウェーデン	2024年4月1日	～	2025年3月31日	365
7	教養教育研究院	葛飾キャンパス 教養部	准教授	Rényi Institute of Mathematics	ハンガリー	2024年4月1日	～	2025年3月31日	365
8	教養教育研究院	長万部キャンパス 教養部	講師	Strasbourg University	フランス	2024年4月1日	～	2024年8月20日	142

(任期付き教員)

採択 7 名

実施 7 名 予算執行額 13,363,225 円

	学部・研究科	学科	職名	受入研究機関	国・地域名	派遣期間			派遣日数
1	理学部第一部	化学科	嘱託助教	Technische Universitat Berlin	ドイツ	2025年1月6日	～	2025年4月4日	89
2	理学部第一部	応用数学科	嘱託助教	University of Amsterdam	オランダ	2025年3月4日	～	2026年3月3日	365
3	薬学部	薬学科	嘱託特別講師	Florida Atlantic University	アメリカ	2024年10月14日	～	2025年3月15日	153
4	工学部	機械工学科	嘱託助教	University of Waterloo	カナダ	2024年10月27日	～	2025年3月25日	150
5	創域理工学部	機械航空宇宙工学科	嘱託助教	The University of Akron	アメリカ	2024年4月1日	～	2025年3月31日	365
6	経営学部	国際デザイン 経営学科	嘱託助教	①University of Nairobi ②Addis Ababa University	①ケニア ②エチオピア	2024年9月16日	～	2024年12月21日	97
7	教養教育研究院	神楽坂キャンパス 教養部	嘱託助教	Sorbonne Université	フランス	2025年2月13日	～	2025年8月31日	200

< 3. 学生の国際競争力を高めるプログラム整備 >

(1) 長期派遣・受入プログラム

①ダブルディグリープログラム

本学と海外の協定校の両大学で学び、それぞれの必要要件を満たす学生が、修了時に両大学で学位を取得することができるプログラムである。現在、国立陽明交通大学、及び台北医学大学とダブルマスターディグリー (DMD) に係る協定を、サスカチュワン大学と DMD 及びダブルドクターディグリー (DDD) に係る協定を締結し、学生の派遣・受入を行っている。

【国際化推進センター負担経費】

I. ダブルディグリープログラム (派遣)

「海外教育研究機関（協定校含む）への派遣学生」の制度を利用して次の経費を負担。

渡航費：日本発の往復国際航空券（上限 25 万円）を現物支給する。

滞在費：1 日につき、2,000 円とし、25 万円を上限とする。

宿泊費：1 泊につき、3,000 円とし、35 万円を上限とする。

※予算執行額は「海外教育研究機関（協定校含む）への派遣学生」の項で計上。

（サスカチュワン大学との DMD/DDD のみ）

上記に加え、先方大学の意向から、サスカチュワン大学とは授業料相互不徴収の取り決めを行っていないため、参加学生にとって経済的負担を軽減する目的で、留学期間中の本学学生の本学授業料及び教育充実費に相当する額を免除する。

※他の DMD 実施先大学とは授業料等不徴収の取り決めを行っている。

国際化推進センター予算執行額：600,000 円

II. ダブルディグリープログラム (受入)

各大学との協定にて、受入学生の本学在籍期間中の授業料等不徴収を定めているため、不徴収相当分を国際化推進センター予算で負担する。

国際化推進センター予算執行額：2,435,000 円

【各プログラム概要及び派遣受入実績】

㊦ 国立陽明交通大学（台湾）との DMD プログラム

創域理工学研究科経営システム工学専攻と、台湾の国立陽明交通大学 Department of Industrial Engineering and Management in the College of Management との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／国立陽明交通大学修士 Master of Science

【2024 年度実績】

派遣者数 0 名

受入者数 0 名

④ 台北医学大学との DMD プログラム

先進工学研究科マテリアル創成工学専攻と、台湾の台北医学大学 College of Biomedical Engineering との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／台北医学大学 Master of Science

【2024 年度実績】

派遣者数 0 名

受入者数 1 名

⑦ サスカチュワン大学との DMD プログラム

先進工学研究科物理工学専攻と、カナダのサスカチュワン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／サスカチュワン大学 Master of Science

【2024 年度実績】

派遣者数 0 名

受入者数 0 名

⑤ サスカチュワン大学との DDD プログラム

先進工学研究科物理工学専攻と、カナダのサスカチュワン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラム。

博士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学博士（工学）／サスカチュワン大学 Doctor of Philosophy

【2024 年度実績】

派遣者数 0 名

受入者数 0 名

②海外教育研究機関への派遣・受入

I.海外教育研究機関への派遣学生

外国の大学等学術研究機関へ中長期の研究を目的として学生を派遣するプログラムである。本学指導教員と派遣先大学教員との間で共同研究を実施しており、派遣学生の共同指導に係る合意がとれている必要がある。

【国際化推進センター負担経費】

渡航費：日本発の往復国際航空券（上限 25 万円）を現物支給する。

滞在費：1 日につき、2,000 円とし、25 万円を上限とする。

宿泊費：1 泊につき、3,000 円とし、35 万円を上限とする。

【2024 年度派遣実績】

派遣者数：22 名

国際化推進センター予算執行額：14,429,690 円

	本学との協定の有無	派遣先大学	派遣国	所属	派遣期間（予定含む）	
1	有	釜山大学	韓国	工学研究科電気工学専攻	2024年6月1日	～ 2024年6月30日
2	無	ミラノ・ビコッカ大学	イタリア	理学研究科化学専攻	2024年6月1日	～ 2024年6月30日
3	無	ノーステキサス大学	アメリカ	理学研究科化学専攻	2024年6月1日	～ 2024年7月31日
4	無	ダルハウジー大学	カナダ	理学研究科化学専攻	2024年6月30日	～ 2024年8月1日
5	無	ジュネーヴ大学	スイス	理学研究科化学専攻	2024年8月1日	～ 2024年8月31日
6	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2024年8月15日	～ 2025年2月15日
7	有	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	ドイツ	工学研究科電気工学専攻	2024年9月5日	～ 2024年12月16日
8	有	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	ドイツ	工学研究科電気工学専攻	2024年9月5日	～ 2024年12月16日
9	無	ノヴァ・デ・リスボン大学	ポルトガル	工学研究科電気工学専攻	2024年9月6日	～ 2024年12月26日
10	有	ローマ・トルヴェガダ大学	イタリア	創域理工学研究科情報計算科学専攻	2024年9月12日	～ 2024年12月6日
11	無	カリフォルニア大学バークレー校	アメリカ	先進工学研究科物理工学専攻	2024年9月26日	～ 2024年12月25日
12	無	オークリッジ国立研究所	アメリカ	理学研究科化学専攻	2024年10月1日	～ 2024年12月21日
13	無	ペンシルバニア大学	アメリカ	工学研究科機械工学専攻	2024年10月1日	～ 2025年1月21日
14	無	清華大学	中国	工学研究科機械工学専攻	2024年10月8日	～ 2025年1月10日
15	無	ボローニャ大学	イタリア	理学研究科化学専攻	2024年10月29日	～ 2024年12月3日
16	有	サンパウロ大学サンカルロス校	ブラジル	創域理工学研究科先端物理学専攻	2025年1月20日	～ 2025年6月21日
17	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年2月1日	～ 2025年7月31日
18	有	国立リール建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年2月3日	～ 2025年8月15日
19	有	国立リール建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年2月3日	～ 2025年8月31日
20	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年2月7日	～ 2025年8月5日
21	有	リスボン工科大学	ポルトガル	創域理工学研究科建築学専攻	2025年2月11日	～ 2025年7月20日
22	有	ウィーン工科大学	オーストリア	創域理工学研究科建築学専攻	2025年2月15日	～ 2026年1月31日

Ⅱ.海外教育研究機関からの受入れ学生

教育研究環境の国際化を目的として、外国の大学等学術研究機関から、研究目的の学生を1か月～1年間、本学の研究室で受け入れる制度である。授業料不徴収の対象学生または希望する場合は、授業料不徴収（国際化推進センター負担）としている。

【2024 年度受入れ実績】

受入者数：29 名

国際化推進センター予算執行額：10,236,668 円

	本学との協定の有無	派遣元大学	派遣元国	受入部局	受入期間(予定含む)		受入日数
1	有 (協定によらない)	台北科技大学	台湾	工学部機械工学科	2024年4月1日	～ 2024年6月30日	91
2	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2024年4月1日	～ 2024年7月18日	109
3	有	アダム・ミツェヴィチ大学	ポーランド	理学研究科化学専攻	2024年4月14日	～ 2024年4月28日	15
4	無	カーン国立大学院	フランス	理学研究科化学専攻	2024年4月15日	～ 2024年8月8日	116
5	無	ブルターニュ先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2024年5月1日	～ 2024年8月23日	115
6	無	ブルターニュ先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2024年5月1日	～ 2024年8月31日	123
7	無	ブルターニュ先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2024年5月1日	～ 2024年8月31日	123
8	無	パリクレテユ大学	フランス	先進工学部機能デザイン工学科	2024年5月6日	～ 2024年7月20日	76
9	無	ブルターニュ先端技術国立学校	フランス	先進工学研究科マテリアル創成工学専攻	2024年5月6日	～ 2024年8月29日	116
10	無	ブルターニュ先端技術国立学校	フランス	先進工学研究科電子システム工学専攻	2024年5月6日	～ 2024年8月31日	118
11	有	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	ドイツ	工学研究科電気工学専攻	2024年5月7日	～ 2024年8月30日	116
12	無	ムンバイ大学	インド	理学研究科物理学専攻	2024年5月22日	～ 2024年11月18日	181
13	無	国立東華大学	台湾	理学研究科化学専攻	2024年6月12日	～ 2024年8月8日	58
14	無	国立インド工科大学ボンベイ校	インド	理学研究科化学専攻	2024年6月16日	～ 2024年7月31日	46
15	無	ジュネーヴ大学	スイス	薬学研究科薬科学専攻	2024年8月26日	～ 2024年12月27日	124
16	有	トゥルーズ建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学科	2024年9月1日	～ 2025年7月31日	334
17	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2024年9月9日	～ 2025年8月8日	334
18	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2024年9月9日	～ 2025年8月8日	334
19	有	国立台北科技大学	台湾	工学研究科情報工学専攻	2024年9月10日	～ 2025年6月30日	294
20	無	パルマ大学	イタリア	理学研究科物理学専攻	2024年10月1日	～ 2024年12月22日	83
21	有	ウィーン工科大学	オーストリア	工学研究科建築学専攻	2024年10月1日	～ 2025年2月28日	151
22	無	ブレシア大学	イタリア	工学研究科建築学専攻	2024年11月1日	～ 2025年7月31日	273
23	有	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	ドイツ	工学研究科電気工学専攻	2024年11月1日	～ 2025年1月31日	92
24	有	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	ドイツ	工学研究科電気工学専攻	2024年11月1日	～ 2025年1月31日	92
25	有	国立中興大学	台湾	経営学研究科経営学専攻	2024年11月1日	～ 2025年2月26日	118
26	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2024年11月6日	～ 2025年3月8日	123
27	無	SRM大学	インド	薬学部薬学科	2025年1月20日	～ 2025年7月6日	168
28	有	リール大学	フランス	創域理工学研究科先端化学専攻	2025年2月17日	～ 2025年8月27日	192
29	無	エクス・マルセイユ大学	フランス	創域理工学研究科先端物理学専攻	2025年3月1日	～ 2025年8月31日	184

③カリフォルニア大学1年留学プログラム

1年間、カリフォルニア大学デイビス校が実施するGlobal Study Programに参加する学部学生を対象とするプログラムである。通常3月下旬に渡航し、学生の英語力に応じて通年で専門科目を履修、または、前半に英語集中プログラムを受講後、後半に専門科目を履修し、単位を修得する。修得した単位は帰国後所属の学科が認めた場合に本学の単位として認定される。また、留学期間中は本学に在籍し、休学とはしない。

【国際化推進センター負担経費】

授業料等：当該年度の本学授業料（授業料・教育充実費）

渡航費：成田/羽田⇄サンフランシスコの往復分

【2024 年度派遣実績】

参加学科数：31 学科

派遣者数：1 名

国際化推進センター予算執行額：1,822,720 円

(2) 短期留学プログラム

①語学研修プログラム

夏期休暇期間又は学年度末の約 1 か月間、学生を海外へ派遣するプログラムであり、現地の英語での授業の受講により英語スキルを向上させるとともに、異文化体験を通じて広い視野と国際感覚を養うことを目的とする。本プログラムは、本学が企画し、旅行企画及び実施を業者へ委託している。参加費用は、受益者負担として全額参加学生が負担する。2024 年度は以下のとおり実施した。

【夏期実施プログラム】

プログラム名称	ビクトリアプログラム	サンフランシスコプログラム
プログラム実施機関	ビクトリア大学	カリフォルニア大学デイビス校
実施期間	2024 年 8 月 4 日～8 月 26 日(23 日間)	2024 年 8 月 8 日～9 月 8 日(32 日間)
実施形態	渡航型	渡航型
参加者数	16 名	15 名

プログラム名称	バンクーバー(CCEL)プログラム	マンチェスタープログラム
プログラム実施機関	Canadian College of English Language(CCEL)語学学校	マンチェスター大学
実施期間	2024 年 8 月 10 日～9 月 8 日(30 日間)	2024 年 8 月 10 日～9 月 8 日(30 日間)
実施形態	渡航型	渡航型
参加者数	5 名	17 名

プログラム名称	ロンドンプログラム_2週間コース	フィリピンプログラム
プログラム実施機関	ブルネル大学	デラサール アラネタ大学付属語学学校
実施期間	2024 年 8 月 10 日～8 月 25 日(16 日間)	2024 年 8 月 18 日～8 月 31 日(14 日間)
実施形態	渡航型	渡航型
参加者数	10 名	8 名

※以下プログラムについては、実施に係る最少催行人数を満たさず不催行となった。

- ・ロンドンプログラム(ブルネル大学)4 週間コース

【春期実施プログラム】

プログラム名称	ビクトリアプログラム	サンフランシスコプログラム
プログラム実施機関	ビクトリア大学	カリフォルニア大学デビス校
実施期間	2025 年 2 月 2 日～3 月 2 日(29 日間)	2025 年 2 月 13 日～3 月 16 日(32 日間)
実施形態	渡航型	渡航型
参加者数	26 名	14 名

プログラム名称	バンクーバー (UBC) プログラム	フィリピンプログラム
プログラム実施機関	ブリティッシュコロンビア大学	デラサール アラネタ大学付属 語学学校
実施期間	2025 年 2 月 23 日～3 月 23 日(29 日間)	2025 年 2 月 23 日～3 月 8 日(14 日間)
実施形態	渡航型	渡航型
参加者数	9 名	4 名

※以下プログラムについては、実施に係る最少催行人数を満たさず不催行となった。

- ・バンクーバー (CCEL) プログラム (CCEL 語学学校)

【語学研修プログラム 学部・研究科別参加者数】

学部/研究科別 参加者一覧	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
理学部第一部	16	29	1	1	5	7	18
理学部第二部	3	6	0	0	1	2	4
工学部	18	25	0	1	5	13	15
薬学部	2	5	2	0	0	2	5
創域理工学部	25	36	5	4	7	25	27
先進工学部	22	32	1	1	9	15	22
経営学部	32	17	0	2	7	24	23
学部計	118	150	9	9	34	88	114
理学研究科	0	1	0	0	0	0	1
工学研究科	0	0	0	0	0	0	2
薬学研究科	0	0	0	1	0	0	1
創域理工学研究科	0	0	0	2	0	0	5
先進工学研究科	0	1	0	0	0	0	1
経営学研究科	0	0	0	0	1	0	0
生命科学研究科	0	0	0	0	0	0	0
大学院計	0	2	0	3	1	0	10
合計	118	152	9	12	35	88	124

②グローバル研修プログラム

国境を超えた学びと交流の機会を提供し、異文化に触れながら新たな視野を広げ、自己成長を促進することを目的としたプログラムである。

プログラム名称	シリコンバレープログラム	カンボジアプログラム
実施期間	2024 年 8 月 28 日～9 月 5 日(9 日間)	① 2024 年 8 月 18 日～8 月 26 日(9 日間) ② 2024 年 8 月 28 日～9 月 5 日(9 日間)
実施概要	現地の大学教員、研究者、起業家、サイエンスライター等の講演を聞く他、Plug & Play Tech Center, Apple, Google 等企業を訪問し、レクチャーを受ける。	カンボジアでの研修・視察を通じて現地のニーズに合った課題解決に取り組む。 ①課題「カンボジア教育支援団体のパンフレットを作成せよ」 ②課題「フェアトレードコーヒーの販売アイデアを提案せよ」
実施形態	渡航型	渡航型
参加者数	15 名	3 名

【グローバル研修プログラム 学部・研究科別参加者数】

学部/研究科別 参加者一覧	2017 年度	2018 年度	2019 年度 ～2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
理学部第一部	2	2	-	6	-	1
理学部第二部	1	0	-	0	-	0
工学部	1	8	-	2	-	1
薬学部	1	4	-	0	-	0
創域理工学部	2	9	-	7	-	10
先進工学部	3	1	-	2	-	0
経営学部	7	7	-	3	-	2
学部計	17	31	-	20	-	14
理学研究科	0	1	-	2	-	0
工学研究科	0	0	-	0	-	0
薬学研究科	0	0	-	0	-	0
創域理工学研究科	0	0	-	2	-	3
先進工学研究科	0	1	-	0	-	0
経営学研究科	1	0	-	0	-	1
生命科学研究科	0	0	-	0	-	0
大学院計	1	2	-	2	-	4
合計	18	33	-	24	-	18

各種派遣プログラムの過去5年間の推移

		プログラム名	派遣先国・地域	派遣先大学等	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
語学研修プログラム	夏期	サンフランシスコプログラム	アメリカ	カリフォルニア大学デビス校	中止	5**	0**	15	15
		ロサンゼルスプログラム	アメリカ	カリフォルニア大学アーバイン校		—	—	0**	—
		シアトルプログラム	アメリカ	ワシントン大学		2**	—	—	—
		ロンドンプログラム 2週間コース	イギリス	ブルネル大学		—	—	—	10
		ロンドンプログラム 4週間コース	イギリス	ブルネル大学		—	—	—	0**
		マンチェスタープログラム	イギリス	マンチェスター大学		—	—	6	17
		ケンブリッジプログラム	イギリス	ケンブリッジ大学ホートン校		—	—	0**	—
		ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学		1**	—	—	16
		バンクーバー (CCEL) プログラム	カナダ	CCEL語学学校		—	—	10	5
		バンクーバー (UBC) プログラム	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学		—	0**	7	—
	フィリピンプログラム	フィリピン	デラサール アラネタ大学付属語学学校	—	—	—	8		
	春期	サンフランシスコプログラム	アメリカ	カリフォルニア大学デビス校	—	1**	11	18	14
		サンフランシスコプログラム(オンライン)	アメリカ	カリフォルニア大学デビス校	—	—	—	0**	—
		ロサンゼルスプログラム	アメリカ	カリフォルニア大学アーバイン校	1**	—	9	—	—
		ハワイプログラム	アメリカ	ハワイ大学マノア校	3**	—	1	0**	—
		バンクーバー (UBC) プログラム	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	1**	3**	—	12	9
		バンクーバー (CCEL) プログラム	カナダ	CCEL語学学校	—	—	—	—	0**
		ケンブリッジプログラム	イギリス	ケンブリッジ大学ホートン校	2**	—	—	—	—
		ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学	2**	—	14	20	26
	フィリピンプログラム	フィリピン	デラサール アラネタ大学付属語学学校	—	—	—	—	4	
	小計				9	12	35	88	124
グローバル研修プログラム	シリコンバレー研修プログラム	アメリカ		中止*	中止*	24	—	15	
	カンボジアプログラム	カンボジア		—	—	—	—	3	
	小計				0	0	24	0	18
協定校への派遣	カリフォルニア大学1年留学プログラム	アメリカ	カリフォルニア大学デビス校	2	中止*	5	2	1	
	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学への経営学部学生派遣	ドイツ	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	中止*	中止*	2	0	—	
	ハノーファー大学への経営学部学生派遣	ドイツ	ハノーファー大学			0	2	0	
	国立陽明交通大学とのDMDプログラム	台湾	国立陽明交通大学	1	2	0	0	0	
	台北医学大学とのDMDプログラム	台湾	台北医学大学	0	0	0	0	0	
	サスカチュワン大学とのDMDプログラム	カナダ	サスカチュワン大学	1	0	0	0	0	
	サスカチュワン大学とのDDDプログラム	カナダ	サスカチュワン大学	—	—	—	1	0	
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣(1ヶ月以上)			中止*	1	6	9	12	
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣(1ヶ月未満)				中止*	—	0	0	
	小計				4	3	13	14	13
協定校以外への派遣	指導教員同士の共同研究に基づく派遣(1ヶ月以上)			中止*	中止*	1	9	10	
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣(1ヶ月未満)					—	—	0	
	大学院博士後期課程学生国際学会等派遣					23	29	29	
	トビタテ！留学ジャパンによる派遣(外部機関)					1	—	1	2
	小計				0	1	24	39	41
さくらサイエンス双方向交流派遣	ベトナム国家大学ハノイ校	ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校	中止*	中止*	—	7	—	
	インドネシアスラム大学	インドネシア	インドネシアスラム大学	—	—	—	—	9	
	マレーシアブルリス大学	マレーシア	マレーシアブルリス大学	—	—	—	—	3	
	小計				0	0	0	7	12
				合計	13	16	96	148	208

*新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

**代替オンラインプログラムを実施

***最少催行人数を満たさず不催行

(3) 世界を身近にする環境整備

インターナショナルラウンジ

インターナショナルラウンジは、「世界の入り口はインターナショナルラウンジ」をコンセプトに、多様な価値観を共有する場の提供、及び学生の英語学習や海外留学への動機付けを行うことを目的とした学生向けサービスの総称である。

以下の4種類のサービスを全て無料で提供している。

- ① 英会話サービス「Casual Talking」
- ② 英語プレゼンテーションコーチングサービス「Brush Up! Presentation」
- ③ 各種セミナー
- ④ 各種イベント

【2024 年度インターナショナルラウンジ利用状況】 () は前年度実績

	Casual Talking	セミナー	イベント	Brush Up! Presentation	総計
利用者	2,136 名 (※) (5,570 名)	354 名 (230 名)		36 名 (51 名)	2,526 名 (5,851 名)

(※) Casual Talking の参加者数は、2023 年度はコマ毎の延べ数で参加者数の集計を行っていたが、2024 年度は 1 日の参加者で集計することに変更したため、人数の大幅な減少が生じている。

①英会話サービス「Casual Talking」

様々な国籍のネイティブ講師と英語でフリートークを楽しめるサービスとして実施している。
講師の派遣は外部業者に業務委託している。

	前期	後期	春休み
講師数	8名		9名
形式	対面・オンライン		オンラインのみ
期間	4月11日～7月19日 (【対面】実働39日、【オンライン】実働67日)	9月13日～12月23日 (【対面】実働38日、【オンライン】実働66日)	2025年1月28日～2025年3月13日 (【オンライン】実働42日)
曜日	【対面】 ・神楽坂キャンパス：月、火、水曜日 ・野田キャンパス：月、水、木曜日 ・葛飾キャンパス：月、水、金曜日 【オンライン】 月曜日～金曜日 ※祝日を除く		【オンライン】 月曜日～日曜日 ※祝日を除く
時間	【対面】 12：00～16：00 【オンライン】 16：00～18：30	【対面】 12：00～16：00 【オンライン】 17：00～19：30	【オンライン】 11：00～18：30
利用者数	1,112名 (【対面】922名、【オンライン】190名)	758名 (【対面】623名、【オンライン】135名)	266名
経費	・講師派遣委託費： 【対面】 5,500円/1時間×4時間×39日間×3キャンパス＋交通費＝2,689,057円 【オンライン】 5,500円/1時間×2.5時間×67日間＝921,250円 合計3,610,307円	・講師派遣委託費： 【対面】 5,500円/1時間×4時間×38日間×3キャンパス＋交通費＝2,620,107円 【オンライン】 5,500円/1時間×2.5時間×66日間＝907,500円 合計3,507,607円	・講師派遣委託費： 【オンライン】 5,500円/1時間×7.5時間×42日間＝ 合計1,732,500円 (うち国際化推進機構：65,459円) (うちこ う よ う 会：1,667,041円)
予算区分	国際化推進機構予算	こよう会国際化対応助成金	国際化推進機構予算 こよう会国際化対応助成金

②英語プレゼンテーションコーチングサービス「Brush Up! Presentation」

2023 年 4 月から、英語プレゼンテーション能力の向上及び国際学会等における英語での発表をサポートすることを目的に、各キャンパスにおいて対面及びオンライン形式で、ネイティブ講師による英語プレゼンテーションに関する「模擬プレゼン」、「質疑応答」、「資料デザイン」等のコーチングサービスを提供している。

講師の派遣は外部業者に業務委託している。

	前期	後期
講師数	1名	
形式	対面・オンライン	
期間	4月11日～7月18日 (実働15日)	9月19日～1月9日 (実働15日)
曜日	毎週木曜日の授業実施日	
時間	15:00～17:00	
利用者数	20名	16名
経費	・講師派遣委託費： 9,900円/1時間×2時間×15日＋交通費 ＝ 合計309,929円	・講師派遣委託費： 9,900円/1時間×2時間×15日＋交通費 ＝ 合計305,352円
予算区分	国際化推進機構予算	こよう会国際化対応助成金

③・④各種セミナー・イベント

開催数：22回

参加学生数：354名

経費：国際化推進センター予算 989,185円

③2024 年度インターナショナルラウンジセミナー

	講座名	形式	開催日	時間	定員	申込者数	参加者数	委託先	対象	講座説明
1	TOEIC®勉強法講座	オンライン	4月30日 (火)	18:00-21:00	20	32	17	日米会話学院	・ TOEIC®のスコアアップにつながる学習法、テキストを知りたい学生	TOEIC®の勉強法を紹介する講座です。 パート別に、正答率をあげるのに「最適な学習方法」を紹介します。最適な学習方法を「正しいやり方」で学習することで学習時間の短縮を目指します。
2	TOEFL®Listening & Reading講座	オンライン	5月8日 (水)	18:00-21:00	20	23	13	日米会話学院	・ TOEFL®IBTを受験予定の学生 ・ 海外留学の準備をしている学生	TOEFL IBTの対策講座です。 外国人講師からTOEFL IBT®のListening&Reading パートについて学びます。ITP (団体受験) テスト対策としても有効です。 講座は全て英語で行われます。
3	英語プレゼン講座初級編	オンライン	5月24日 (金)	18:00-21:00	20	20	10	ジェイムズ 英会話	・ 英語でのプレゼンが初めての学生 ・ 英語プレゼンの基本を知りたい学生	英語プレゼンテーションについての講座です。 良い印象を与え、明確に伝わるプレゼンテーションを行うための基礎を外国人講師から学びます。 日本語でプレゼンをしたことがあるものの、英語でのプレゼンが初心者の学生に適した内容です。
4	TOEIC800点突破講座	オンライン	6月3日 (月)	18:00-21:00	20	23	12	日米会話学院	・ TOEIC®を受験したことがある学生 ・ TOEIC®800点突破を目指す学生	TOEIC®の対策講座です。 TOEIC800点突破に向けて、押さえておかなければならないPart及び問題タイプに絞り込み特徴と攻略法について学びます。高得点を狙うための勉強法を紹介し、継続的な勉強を促します。
5	ディスカッション・ディベート講座	対面 @神楽坂	6月19日 (水)	13:00-16:00	15	4	2	日米会話学院	・ 英語で自分の意見を言えるようになりたい学生 ・ 英語ディスカッションを基礎から学びたい学生	英語ディスカッションについて学ぶ講座です。 ディスカッションの基礎やルールについて学ぶとともに、ディスカッションの実践を行うことで、英語での発信力を高めます。 講座は全て英語で行われます。
6	Academic Writing講座	オンライン	7月2日 (火)	18:00-21:00	20	17	11	日米会話学院	・ 英語での論文・レポート作成に不慣れな学生 ・ 英語論文の執筆のための知識の取得、技術の向上を目指す学生	論文等、アカデミックな英文を作成する方法について学ぶ講座です。日本語と英語の文章作成法の違いを理解し、各様式のParagraph構成と発出表現を学ぶと共に、使える構文・語彙を拡充し書く力を伸ばします。 講座は全て英語で行われます。
7	サバイバルイングリッシュ講座	対面 @葛飾	7月6日 (土)	10:00-17:00	20	22	15	日米会話学院	・ 海外留学を控えている学生 ・ 海外旅行を控えている学生	ホームステイ・留学先でコミュニケーションを取る際に必要な英語を学ぶ講座です。 豊かな人間関係を築くために必要な語彙・表現・マナー等を習得することができます。講座内の実践演習により、一人で日常生活に対応できる英会話スキルを習得することができます。 講座は全て英語で行われます。
8	TOEIC®800点突破講座	オンライン	9月18日 (水)	18:00-21:00	20	27	11	日米会話学院	・ TOEIC®を受験したことがある学生 ・ TOEIC®600点突破を目指す学生	TOEIC®の対策講座です。 Part1~Part7の特徴と攻略法について学びます。また、講座終了後に自己学習で英語力アップさせることができるようにPart別の学習法も紹介します。
9	IELTS6.0突破講座	オンライン	9月25日 (水)	18:00-21:00	15	15	7	パークレー ハウス	・ IELTSアカデミックモジュールを受験予定の学生 ・ IELTSのスコア6.0突破を目指す学生 ・ 英国・欧州への留学を希望している学生 (学部生・院生含む)	IELTSアカデミックモジュールの対策講座です。 IELTSのListening、Readingの対策方法を学ぶとともに、問題の演習により、独学が難しいIELTSの対策をしましょう！特に英国・欧米圏への留学準備をする学生におすすめの講座です。
10	TOEFL®Speaking & Writing 講座	オンライン	10月17日 (木)	18:00-21:00	20	23	12	日米会話学院	・ TOEFL IBTまたはITPを受検予定の学生 ・ 北米圏への留学の希望している学生	TOEFL®の対策講座です。 外国人講師からTOEFL IBT®のSpeaking&Writing パートの攻略法について学びます。ITP (団体受験) テスト対策としても有効です。 講座は全て英語で行われます。
11	クロスカルチャルワーク ショップ	対面	11月5日 (火)	13:00-16:00	20	5	2	日米会話学院	・ 異文化に興味のある学生 (特にアジア系) ・ 宗教が文化的な価値観に及ぼす影響について知りたい学生	異文化理解に係る講座です。 国・文化によるコミュニケーションの取り方、問題解決に対する取り組み方、対人行動の違いを理解しましょう。今回は、【アジア・ヨーロッパ】圏を取り上げます。ロールプレイを通じて学ぶことができます。
12	英語プレゼン講座～初級編～	オンライン	12月2日 (月)	18:00-21:00	20	7	4	ジェイムズ 英会話	・ 英語でのプレゼンが初めての学生 ・ 英語プレゼンの基本を知りたい学生	英語プレゼンテーションについての講座です。 良い印象を与え、明確に伝わるプレゼンテーションを行うための基礎を外国人講師から学びます。 日本語でプレゼンをしたことがあるものの、英語でのプレゼンが初心者学生に適した内容です。
13	サバイバルイングリッシュ講座	対面 @神楽坂	1月28日 (火)	9:00-16:00	20	15	10	日米会話学院	・ 海外留学を控えている学生 ・ 海外旅行を控えている学生	ホームステイ・留学先でコミュニケーションを取る際に必要な英語を学ぶ講座です。 豊かな人間関係を築くために必要な語彙・表現・マナー等を習得することができます。講座内の実践演習により、一人で日常生活に対応できる英会話スキルを習得することができます。 講座は全て英語で行われます。
14	ビジネス英語講座	オンライン	2月18日 (火)	13:00-16:00	20	18	11	日米会話学院	・ TOEIC700点以上の学生 ・ 卒業後に英語を使って働きたい学生	ビジネス英語についての講座です。 海外との文化やマナーの違いを理解し、グローバルな『ビジネスシーン』で役立つ実用的な英語力を身に付けることができます。

④2024 年度国際ナショナルラウンジイベント

	講座名	形式	開催日	時間	定員	申込者数	参加者数	委託先	対象	講座説明
1	Welcome Day	対面	4/11野田 4/12葛飾 4/15神楽	12:00-16:00			神楽坂9 野田23 葛飾18	ジェイムズ英会話	・新入生 ・Casual Talkingの利用が初めての学生	Casual Talking開室初日のイベントです。 新入生・在学生に広く英語ラウンジを利用してもらうきっかけづくりのため、ネイティブ講師ともに、英語で会話しながら、ゲーム等を行い、交流を深めます。
2	BOSCHインターン学生イベント@神楽坂	対面 @神楽坂	6月13日	12:10-13:40	20	15	9	BOSCH	・様々な国からの外国人留学生と交流したい学生 ・BOSCHのような国際的な企業で働く様子について聞きたい学生	国際色豊かなドイツ企業BOSCHでインターンしている多国籍な学生と英語で交流できるイベントです。 外国人インターン生との交流に加えて、BOSCHでのインターンシップに係る情報を取得することもできます。
3	【Casual Talking】 七夕week	対面	7月1日～5日	各コマ25分			神楽坂16 野田27 葛飾17	ジェイムズ英会話	・Casual Talkingの利用が初めての学生 ・英会話に苦手意識のある学生	無料英会話Casual Talking【対面】のイベントです。 イベント期間中、各キャンパスの国際ナショナルラウンジに設置された世と短期に、先生たちと一緒に、短期に英語で面白い事を書きます。
4	【Casual Talking】 推し活week	対面	10月15日 ～18日	12:00-16:00			神楽坂8 野田18 葛飾19	ジェイムズ英会話	・推しへの愛があふれる学生 ・英会話初心者	無料英会話Casual Talkingの【対面・オンライン】のイベントです。 講師と学生で、それぞれの推し（Fave）を英語で語り合うイベントです。好きなものについて語ることを通じて、英語力を高めます。
5	【Casual Talking】 ハロウィンイベント	対面	10月31日	12:00-16:00			22	ジェイムズ英会話	・イベント・ハロウィンが好きな学生 ・異文化に興味のある学生 ・英会話初心者	無料英会話Casual Talking【対面】のイベントです。 各講師の出身国でのハロウィンの過ごし方を聞きます。 海外のハロウィン文化に触れるとともに、英語力を高めます。
6	BOSCHインターン学生イベント@野田	対面	11月18日～ 22日の週希望	12:10-13:40	20	8	4	BOSCH	・様々な国からの外国人留学生と交流したい学生 ・BOSCHのような国際的な企業で働く様子について聞きたい学生	国際色豊かなドイツ企業BOSCHでインターンしている多国籍な学生と英語で交流できるイベントです。 外国人インターン生との交流に加えて、BOSCHでのインターンシップに係る情報を取得することもできます。
7	【Casual Talking】 クリスマスイベント	対面	12月最終日	12:00-16:00			神楽坂7 野田14 葛飾6	ジェイムズ英会話	・英会話に関心のある学生 ・外国文化に関心のある学生 ・英会話初心者	英会話のクリスマスイベントです。 外国のクリスマスと年末年始の過ごし方について先生たちに聞くことができます。海外のクリスマス文化等に触れるとともに、英語力を高めます。

< 4. 大学院生の国際会議発表の促進 >

大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業

大学院博士後期課程学生が、海外で開催される国際学会等で研究発表することを推進し、学生が研究者として国際力を身に付け、知見を広めることで、国際的に貢献できる人材を育成することを目的とする。派遣期間は、14 日以内（日本時間にて、出発日から帰国日までの換算）を対象とする。

【国際化推進センター負担経費】

- ・ 渡航を伴う学会参加の場合：エコノミークラスの往復航空賃の実費

地 域	支給上限額
韓国・台湾	5 万円
東アジア（韓国・台湾を除く）	10 万円
アジア（上記を除く）・大洋州地域	15 万円
南北米大陸・欧州・中近東・アフリカ地域	25 万円

- ・ オンラインでの学会参加の場合：学会参加費（上限 10 万円）

【2024 年度実績】

採択数：合計 29 件(全件、渡航を伴う学会参加)

国際化推進センター予算執行額：5,482,680 円

No.	研究科	専攻	国・地域名	都市名	出発日		帰国日	派遣 日数
1	創域理工学研究科	生命生物科学専攻	ベルギー	ヘント	2024年5月4日	～	2024年5月10日	7
2	創域理工学研究科	先端物理学専攻	ドイツ	ドレスデン	2024年6月21日	～	2024年6月30日	10
3	創域理工学研究科	社会基盤工学専攻	韓国	平昌	2024年6月22日	～	2024年6月29日	8
4	創域理工学研究科	機械航空宇宙工学専攻	イギリス	エディンバラ	2024年6月22日	～	2024年6月30日	9
5	創域理工学研究科	建築学専攻	スペイン	バルセロナ	2024年6月28日	～	2024年7月7日	10
6	経営学研究科	経営学専攻	フランス	ブザンソン	2024年7月5日	～	2024年7月12日	8
7	理学研究科	応用物理学専攻	スイス	レ・ディアブルレ	2024年7月12日	～	2024年7月20日	9
8	先進工学研究科	物理工学専攻	スイス	レ・ディアブルレ	2024年7月12日	～	2024年7月20日	9
9	理学研究科	化学専攻	フランス	リヨン	2024年7月14日	～	2024年7月21日	8
10	理学研究科	物理学専攻	ポーランド	ワルシャワ	2024年7月20日	～	2024年7月26日	7
11	創域理工学研究科	機械航空宇宙工学専攻	カナダ	バンクーバー	2024年7月21日	～	2024年7月27日	7
12	創域理工学研究科	建築学専攻	日本	札幌	2024年7月29日	～	2024年8月1日	4
13	工学研究科	情報工学専攻	イタリア	フィレンツェ	2024年9月7日	～	2024年9月14日	8
14	創域理工学研究科	生命生物科学専攻	アメリカ	シカゴ	2024年9月11日	～	2024年9月16日	6
15	先進工学研究科	生命システム工学専攻	アメリカ	シカゴ	2024年10月5日	～	2024年10月10日	6
16	理学研究科	応用物理学専攻	アメリカ	ハワイ(ホノルル)	2024年10月6日	～	2024年10月11日	6
17	創域理工学研究科	先端化学専攻	アメリカ	ハワイ(ホノルル)	2024年10月6日	～	2024年10月11日	6
18	理学研究科	物理学専攻	①台湾 ②フィリピン	①台北 ②マニラ	①2024年10月13日 ②2024年10月17日	～	①2024年10月17日 ②2024年10月21日	9
19	理学研究科	科学教育専攻	アメリカ	カンザスシティ	2024年10月19日	～	2024年10月25日	7
20	理学研究科	物理学専攻	日本	京都	2024年10月21日	～	2024年10月25日	5
21	先進工学研究科	マテリアル創成工学専攻	アメリカ	ボストン	2024年11月28日	～	2024年12月9日	12
22	工学研究科	情報工学専攻	ベトナム	ハロン湾	2024年12月2日	～	2024年12月7日	6
23	創域理工学研究科	電気電子情報工学専攻	シンガポール	シンガポール	2024年12月8日	～	2024年12月13日	6
24	理学研究科	数学専攻	アラブ首長国連邦	アブダビ	2024年12月15日	～	2024年12月21日	7
25	創域理工学研究科	社会基盤工学専攻	アメリカ	ワシントンD.C.	2025年1月5日	～	2025年1月11日	7
26	理学研究科	物理学専攻	アメリカ	サンフランシスコ	2025年1月25日	～	2025年2月1日	8
27	理学研究科	物理学専攻	アメリカ	アナハイム	2025年3月15日	～	2025年3月24日	10
28	理学研究科	科学教育専攻	アメリカ	オーランド	2025年3月16日	～	2025年3月23日	8
29	工学研究科	情報工学専攻	アメリカ	ニューオリンズ	2025年3月21日	～	2025年3月28日	8

< 5. 若手研究者の国際会議派遣の推進 >

若手研究者国際学会派遣事業

海外で開催される国際学会で研究発表する若手研究者に旅費を支給することにより、国際人脈を構築する等、若手研究者のキャリアの早期段階からの国際的な活躍を推進することを目的とする。

【国際化推進センター負担経費】

- ・渡航を伴う学会参加の場合：エコノミークラスの往復航空賃（空港までの国内旅費を含む）

地 域	支給上限額
韓国・台湾	5 万円
東アジア（韓国・台湾を除く）	10 万円
アジア（上記を除く）・大洋州地域	15 万円
南北米大陸・欧州・中近東・アフリカ地域	25 万円

- ・オンラインでの学会参加の場合：学会参加費（上限 10 万円）

【2024 年度実績】

採択数：合計 41 件

- ・渡航を伴う学会参加数：40 件
- ・オンラインでの学会参加数：1 件

国際化推進センター予算執行額：合計 8,252,567 円

- ・渡航を伴う学会参加：8,152,567 円
- ・オンラインでの学会参加：100,000 円

No.	所属	職名	講演の種類	国名	都市名	出発日	帰国日	派遣 日数
1	工学部 機械工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	ミネアポリス	2024年5月18日	～ 2024年5月25日	8
2	教養教育研究院 葛飾キャンパス教養部	講師	口頭発表	アメリカ	ビッツバーグ	2024年5月19日	～ 2024年5月27日	9
3	理学部第一部 数学科	嘱託助教	口頭発表	スウェーデン	カールスタード	2024年6月8日	～ 2024年6月16日	9
4	理学部第一部 数学科	嘱託助教	口頭発表	スウェーデン	カールスタード	2024年6月8日	～ 2024年6月16日	9
5	研究推進機構 総合研究院	嘱託助教	ポスター発表	シンガポール	シンガポール	2024年7月12日	～ 2024年7月20日	9
6	工学部 工業化学科	嘱託助教	ポスター発表	フランス	リヨン	2024年7月14日	～ 2024年7月20日	7
7	創域理工学部 経営システム工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	オーランド	2024年7月14日	～ 2024年7月20日	7
8	工学部 機械工学科	嘱託助教	口頭発表 ポスター発表	アメリカ	オーランド	2024年7月14日	～ 2024年7月21日	8
9	創域理工学部 機械航空宇宙工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	オーランド	2024年7月14日	～ 2024年7月21日	8
10	理学部第二部 化学科	嘱託助教	口頭発表	ブラジル	リオデジャネイロ	2024年7月18日	～ 2024年7月28日	11
11	創域理工学部 機械航空宇宙工学科	嘱託助教	口頭発表	カナダ	バンクーバー	2024年7月21日	～ 2024年7月27日	7
12	工学部 情報工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ポートランド	2024年8月3日	～ 2024年8月10日	8
13	理学部第一部 化学科	嘱託助教	ポスター発表	カナダ	トロント	2024年8月10日	～ 2024年8月17日	8
14	工学部 電気工学科	嘱託助教	招待講演	ハンガリー	ブダペスト	2024年8月16日	～ 2024年8月24日	9
15	創域理工学部 先端化学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	デンバー	2024年8月17日	～ 2024年8月23日	7
16	創域理工学部 建築学科	嘱託特別講師	ポスター発表	アイルランド	ダブリン	2024年8月22日	～ 2024年8月31日	10
17	工学部 建築学科	嘱託助教	口頭発表	フランス	トゥールーズ	2024年8月22日	～ 2024年9月1日	11
18	理学部第一部 応用化学科	嘱託特別講師	招待講演	モンゴル	ウランバートル	2024年8月28日	～ 2024年9月1日	5
19	薬学部 生命創薬科学科	嘱託特別講師	招待講演	モンゴル	ウランバートル	2024年8月28日	～ 2024年9月1日	5
20	先進工学部 機能デザイン工学科	嘱託助教	ポスター発表	ドイツ	ハイデルベルク	2024年8月29日	～ 2024年9月8日	11
21	創域理工学部 先端化学科	講師	口頭発表	ドイツ	ベルリン	2024年8月31日	～ 2024年9月7日	8
22	創域理工学部 建築学科	嘱託助教	ポスター発表	ブラジル	サンパウロ	2024年9月13日	～ 2024年9月23日	11
23	工学部 機械工学科	助教	口頭発表	ドイツ	アーヘン	2024年9月15日	～ 2024年9月22日	8
24	薬学部 薬学科	嘱託特別講師	ポスター発表	スペイン	ランサローテ	2024年9月21日	～ 2024年9月29日	9
25	先進工学部 機能デザイン工学科	嘱託助教	口頭発表	マレーシア	クチン	2024年10月5日	～ 2024年10月11日	7
26	理学部第一部 応用化学科	嘱託特別講師	口頭発表	アメリカ	ホノルル	2024年10月5日	～ 2024年10月13日	9
27	創域理工学部 経営システム工学科	嘱託助教	口頭発表	ベトナム	ホーチミン	2024年10月7日	～ 2024年10月12日	6
28	理学部第一部 物理学科	嘱託助教	招待講演	中国	浙江省	2024年10月14日	～ 2024年10月21日	8
29	工学部 電気工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	フェニックス	2024年10月19日	～ 2024年10月26日	8
30	工学部 電気工学科	嘱託助教	口頭発表	アラブ首長国連邦	アブダビ	2024年10月27日	～ 2024年10月31日	5
31	創域理工学部 建築学科	嘱託特別講師	口頭発表	タイ	バンコク	2024年11月3日	～ 2024年11月10日	8
32	工学部 電気工学科	嘱託助教	招待講演	タイ	チェンマイ	2024年11月4日	～ 2024年11月9日	6
33	先進工学部 マテリアル創成工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ボストン	2024年11月30日	～ 2024年12月7日	8
34	先進工学部 マテリアル創成工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	ボストン	2024年11月30日	～ 2024年12月11日	12
35	創域理工学部 社会基盤工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ワシントンDC	2024年12月8日	～ 2024年12月15日	8
36	創域理工学部 社会基盤工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	ワシントンDC	2024年12月8日	～ 2024年12月15日	8
37	工学部 機械工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	オーランド	2024年12月11日	～ 2024年12月16日	6
38	理学部第一部 数学科	嘱託助教	招待講演	アラブ首長国連邦	アブダビ	2024年12月15日	～ 2024年12月21日	7
39	創域理工学部 経営システム工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ビッツバーグ	2025年2月25日	～ 2025年3月2日	6
40	工学部 建築学科	嘱託助教	口頭発表	フィリピン	マニラ	2025年3月1日	～ 2025年3月5日	5
41	先進工学部 機能デザイン工学科	嘱託助教	口頭発表	アラブ首長国連邦	アブダビ	2025年3月14日	～ 2025年3月21日	8

上記のうち、18 のみオンラインでの学会参加

< 6. 外国人教員の増員並びに研究室の国際化の推進 >

(1) 外国人教員の雇用

外国人教員の雇用状況

【2024 年度実績】 64 名/ (2023 年度実績 54 名)

2024 年 5 月 1 日現在

本学専任教員数 (職名別)

所属名称	教授			准教授			講師			助教			全体計		
	計	内訳		計	内訳		計	内訳		計	内訳		計	内訳	
		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍
学校法人東京理科大学	データサイエンスセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	東京理科大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
理学部第一部	数学科	7	1	0	4	2	0	1	0	0	8	0	20	3	0
	物理学科	7	1	0	4	0	1	1	0	0	6	1	18	2	1
	化学科	6	0	0	6	0	0	2	0	0	6	0	20	0	0
	応用数学科	8	1	0	3	0	0	2	2	1	5	0	18	3	1
	応用化学科	9	0	0	2	0	0	2	0	0	5	1	18	1	1
	計	37	3	0	19	2	1	8	2	1	30	2	94	9	3
理学部第二部	数学科	4	1	0	3	0	0	1	0	0	5	0	13	1	0
	物理学科	5	0	1	2	0	0	0	0	0	5	1	12	1	1
	化学科	4	0	0	2	1	0	3	0	1	4	0	13	1	1
	計	13	1	1	7	1	0	4	0	1	14	1	38	3	2
薬学部	薬学科	19	2	0	6	2	0	5	1	1	12	5	42	10	1
	生命創薬科学科	9	0	0	3	0	0	3	1	0	7	2	22	3	0
	計	28	2	0	9	2	0	8	2	1	19	7	64	13	1
工学部	建築学科	9	1	0	4	2	0	0	0	0	9	1	22	4	3
	工業化学科	6	0	0	6	1	0	2	0	0	4	1	18	2	0
	電気工学科	10	0	0	3	0	0	0	0	0	8	2	21	2	2
	情報工学科	6	1	0	5	1	0	1	0	0	5	0	17	2	1
	機械工学科	9	0	0	3	0	0	0	0	0	6	0	18	0	1
	計	40	2	0	21	4	0	3	0	0	32	4	96	10	7
創域理工学部	数理科学科	8	2	0	4	0	0	2	0	0	5	0	19	2	0
	先端物理学科	11	0	0	2	0	0	0	0	0	8	1	21	1	0
	情報計算科学科	5	1	0	3	1	0	3	1	0	6	0	17	3	0
	生命生物科学科	8	0	0	4	2	0	1	0	0	7	2	20	4	0
	建築学科	9	1	0	3	0	0	1	0	0	7	1	20	2	3
	先端化学科	9	0	0	3	0	0	1	0	0	7	2	20	2	0
	電気電子情報工学科	10	0	0	6	0	0	2	1	0	5	0	1	23	1
	経営システム工学科	6	1	0	3	0	0	3	2	1	5	1	2	17	4
	機械航空宇宙工学科	10	0	0	3	0	0	1	0	0	5	0	1	19	0
	社会基盤工学科	8	0	0	3	0	0	1	0	0	4	0	0	16	0
	計	84	5	0	34	3	0	15	4	1	59	7	7	192	19
先進工学部	電子システム工学科	7	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0
	マテリアル創成工学科	10	0	0	2	0	0	1	0	0	6	1	1	19	1
	生命システム工学科	9	2	0	3	0	0	0	0	0	8	1	1	20	3
	物理工学科	11	0	0	0	0	0	3	0	0	6	1	3	20	1
	機能デザイン工学科	6	0	0	4	0	0	0	0	0	5	0	1	15	0
	計	43	2	0	14	0	0	4	0	0	25	3	6	86	5
経営学部	経営学科	9	3	0	2	0	1	6	3	1	1	0	1	18	6
	ビジネスエコノミクス学科	8	0	1	4	1	0	2	0	0	2	1	0	16	2
	国際デザイン経営学科	5	1	0	4	2	1	2	1	0	2	1	0	13	5
	計	22	4	1	10	3	2	10	4	1	5	2	1	47	13
創域理工学研究科	国際防災科学専攻	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
経営学研究科	技術経営専攻	10	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11	2
	計	10	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11	2
教養教育研究院	神楽坂キャンパス教養部	15	2	0	10	6	2	4	2	2	2	1	0	31	11
	野田キャンパス教養部	13	1	0	10	2	2	3	0	1	2	0	2	28	3
	葛飾キャンパス教養部	13	2	2	8	4	1	9	5	4	2	1	2	32	12
	北海道・長万部キャンパス教養部	5	1	0	4	0	1	4	1	2	0	0	0	13	2
	計	46	6	2	32	12	6	20	8	9	6	2	4	104	28
教育支援機構	教職教育センター	5	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1
	理数教育研究センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	計	6	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1
研究推進機構	総合研究院	6	0	1	3	0	1	7	0	2	9	1	5	25	1
	生命医科学研究所	8	0	0	6	0	0	2	0	0	8	4	2	24	4
	計	14	0	1	9	0	1	9	0	2	17	5	7	49	5
総計		356	29	5	158	27	10	82	20	16	207	33	33	803	109

(2) 外国人留学生獲得による研究室の国際化の推進

①国費外国人留学生制度

文部科学省では、世界の発展に貢献する人材を育成する目的や、大学の主体的な留学生交流を促進し国際競争力の強化を図る観点から、国費外国人留学生制度を設けている。本学では次の受入れ形態がある。

I. 大使館推薦

在外公館が主体となり海外に在住する学生を現地における選考試験の結果に基づき推薦する制度。

※奨学金、教育費(大学における入学金、授業料及び入学検定料)、旅費(渡日旅費、帰国旅費)は、文部科学省が負担する。

II. 大学推薦（一般枠・特別枠）

大学が主に大学間交流協定等を締結する海外の大学と協力して海外に在住する学生を新規渡日者として推薦する制度。

【一般枠】例年学内公募制となっており、要件を満たす留学生を国際化推進センターで選考し、本学から推薦している。

【特別枠】本学の創域理工学研究科国際火災科学専攻が2024年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されており、年度毎に優先配置枠数6名を獲得している。優先配置期間は2025年度新規渡日分から3年間である。

<奨学金給付金額>

月額143,000円（研究生等）

月額144,000円（修士課程及び専門職学位課程）

月額145,000円（博士課程）

（特定の地域において就学・研究する者に対し、月額2,000円または3,000円を月額単価に加算。

なお、予算の状況により各年度で金額は変更される場合がある）

<奨学金給付期間>

奨学金支給期間は、渡日後に在籍するそれぞれの課程によって異なる。

大学院修士課程、博士課程及び専門職学位課程に在籍する場合、標準修業年限とする。また、研究生等から大学院の正規課程等に進学希望の者で、一定の基準を満たす特に成績優秀な者については、進学に伴う奨学金支給期間の延長審査を受け、奨金支給期間が延長されることがある。

2024年度 国費外国人留学生数

大使館推薦による国費外国人留学生	2名
大学推薦による国費外国人留学生（一般枠・特別枠）	25名
合 計	27名

②マレーシアツイニングプログラム

マレーシア政府の資金によるマレーシア日本高等教育プログラム(MJHEP) とコンソーシアムを組む日本の大学（加盟校 24 大学）が、現地で 3 年間の準備教育、専門基礎教育（電気系・機械系）を受けたマレーシア人学生を 3 年次に編入学させるプログラムである（2010 年度から受入れ開始）。

2022 年度（2023 年 4 月に編入学）から新たに UniKL JUP プログラムが実施されており、2024 年度は 3 期生の受け入れに当たり、工学部電気工学科及び機械工学科、創域理工学部電気電子情報工学科及び機械航空宇宙工学科、先進工学部電子システム工学科の 5 つの学科が 11 月に編入学試験を実施した。

この結果、5 名の留学生の入学が決定した。

【UniKL JUP 入学者実績】

学部	学科	2022 年度	2023 年度	2024 年度
工学部	電気工学科	1	1	0
	機械工学科	0	0	0
創域理工学部	電気電子情報工学科	0	2	3
	機械航空宇宙工学科	0	1	1
先進工学部	電子システム工学科	—	—	1

③IAESTE による海外学生の受入れ

IAESTE（The International Association for the Exchange of Students for Technical Experience）が仲介を行う、STEM 等の分野のインターンシップ制度である。日本では一般社団法人日本国際学生技術研修協会（IAESTE Japan）が事務局を務め、欧米を中心に研修生を受け入れている。

【国際化推進センター負担経費】

滞 在 費：30,000 円/週、宿舍手配料：12,000 円/人

【2024 年度実績】

受入研修生数：9 名

国際化推進センター予算執行額：2,280,000 円

	受入部局	国籍	受入期間	在籍日数
1	薬学研究科薬科学専攻	ポーランド	2024年6月3日 ～ 2024年8月2日	61
2	薬学研究科薬科学専攻	ポーランド	2024年6月3日 ～ 2024年8月2日	61
3	先進工学研究科マテリアル創成工学専攻	ドイツ	2024年6月3日 ～ 2024年8月2日	61
4	工学部電気工学科	カタール	2024年6月24日 ～ 2024年8月9日	47
5	工学部機械工学科	スペイン	2024年7月8日 ～ 2024年8月2日	26
6	工学研究科建築学専攻	ルーマニア	2024年9月9日 ～ 2024年11月14日	67
7	工学部機械工学科	スペイン	2024年9月9日 ～ 2024年11月29日	82
8	薬学部生命創薬科学科	チェコ	2024年10月21日 ～ 2024年12月15日	56
9	工学部機械工学科	オーストラリア	2024年11月1日 ～ 2024年12月26日	56

④独立行政法人国際協力機構（JICA）事業による海外学生の受入れ

JICA が実施する、外国人を日本の大学の正規学生として受け入れる事業「JICA 研修員（学位課程就学者）制度」を通じ、2023 年 10 月から 1 名の受入れを開始した。

研修員の大学受験に係る費用、入学金、授業料等は全て JICA から大学に直接支払われる他、研修員の生活費も奨学金の形で支給される。

JICA 研修員は、将来途上国等において指導的立場に就く可能性のある人材であり、彼らを育成することが、我が国とそれらの国の関係強化につながる他、本学としては彼らを受け入れることによる国際化の推進、教育や研究水準の向上が期待できる。

【2023 年度から受入中】

受入研修生数：1 名（所属：理学研究科化学専攻 国籍：インド）

コース名：インド工科大学ハイデラバード校日印産学研究ネットワーク構築支援プロジェクト

受入期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 3 月 31 日 研究生

2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日 博士後期課程

【2024年度実績】

受入研修生数：0名

※2024年10月から1名を受入予定だったが、JICAによる最終選考で不合格となった。

⑤国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム：SSP）」

JST が実施する本事業は、産学官の緊密な連携により、諸外国・地域の優秀な青少年に日本の先端的な科学技術に触れる機会を提供することを通して、科学技術イノベーションに貢献しうる海外からの優秀な人材との継続的な研究等の交流を促進することを目的とするものである。

【交流形態】

◆さくら招へいプログラム

○A コース「科学技術体験コース」

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生等との交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進する。

○B コース「共同研究活動コース」

国際共同研究のテーマや計画の策定、予備的な実験等、共同研究を開始する、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とする。

○C コース「科学技術研修コース」

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得の機会を提供する活動を対象とする。

【2024年度実績】 さくら招へいプログラム：2 件 （支援金総額：4,699,361円）

	コース	所属	受入機関	国名	招へい人数	支援金合計
1	A	理学研究科 物理学専攻	インドネシアイスラム大学 天津商業大学 ベトナム国家大学ハノイ校	インドネシア 中国 ベトナム	8	2,005,071円
2	B	創域理工学部 機械航空宇宙工学科	マレーシアプルリス大学	マレーシア	8	2,694,290円

⑥さくらサイエンスプログラム双方向交流派遣

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の国際青少年サイエンス交流事業（SSP）を通じて、本学に受入れた機関に対し、本学の教員及び学生を派遣して、双方向で交流を深めることを目的としている。

【2024年度実績】 派遣：2 件

国際化推進センター予算執行額：1,775,859円

	所属	派遣機関	国名	派遣人数	金額
1	理学部第二部物理学科 理学研究科物理学専攻	インドネシアイスラム大学	インドネシア	10※1	1,000,000円
2	創域理工学部 機械航空宇宙工学科	マレーシアプルリス大学	マレーシア	5※2	775,859円

※1 教員 1 名、自費参加の学生1名を含む。

※2 教員2名を含む。

⑦ビザ取得支援

本学の国際化推進支援のため、本学で直接雇用する外国人研究者、又は本学に新規入学予定である外国人留学生に向けて、長期滞在者向けの在留資格交付申請を代行している。

在留資格認定証明書に係る事務手続きを円滑に進めるため、学外行政書士法人と業務委託契約を結び、在留資格申請者の負担軽減に努めている。一定の要件を満たす場合の業務委託料は、国際支援課予算から支出している。当課において支援する在留資格の種類は、「教授」及び「留学」である。

2024 年度サービスを通しての在留資格認定証明書申請件数

在留資格	種別	件数
教授	ポストドクトラル研究員	14
	プロジェクト研究員	1
留学	協定校等からの非正規留学生	38
	学位取得を目的とした正規留学生	38

【2024 年度実績】

申請件数：91 件

予算執行額（国際支援課予算）：2,802,800 円

⑧学内宿泊施設の管理・利用促進

グローバル人材の育成、国際交流の場の提供を目的とし、野田キャンパス内に「野田国際コミュニティハウス」を設置している。

コミュニティハウス内には、ハウスアシスタント（以下「HA」という）と呼ばれる日本人留学生とペアで居住するシェアルームがあり、国際化推進センター事業で受入れる短期滞在の外国人留学生が当施設へ入居し、日々の生活のサポートをHAがサポートしている。

協定校等からの受入れ学生が入居を希望する場合、一定の期間、国際化推進センター予算で外国人留学生の利用料の補助をしている。

【2024 年度実績】

外国人留学生：5 名

国際化推進センター予算執行額：165,000 円

国籍	入居者数
スイス	1
ドイツ	2
フランス	2

(3) 英語を用いた指導による研究室の国際化の推進

教育職員・博士後期課程学生向け実務英語研修

教員の英語プレゼンテーションや英語を用いた講座運営に必要な技術の向上を目的として、2014年度より教育 DX 推進センターとの共催で、FD セミナーを開催してきた。

2023 年度より上記教員向け英語講座に加え、中期計画 2026 の重点課題「大学院生・若手研究者の国際会議での発表促進」に資するべく、プレ FD セミナーとして博士後期課程学生向け英語講座も実施している。

【教育職員向け英語講座】

▶第 1 回セミナー：教室英語実践講座

開催日時：2024 年 11 月 1 日（金）17：30～20：30

定 員：12 名

参加者：11 名

形 式：対面及びオンライン（Zoom）

講 師：外部業者に委託

予算執行額：482,346 円

▶第 2 回セミナー：英語プレゼンテーション・Q&A 実践トレーニング講座

開催日時：①2024 年 11 月 9 日（土）9：00～12：00

②2024 年 11 月 16 日（土）9：00～12：00

（※同じ内容の講座を、2 日に分けて実施した）

形 式：オンライン（Zoom）

定 員：合計 10 名（各回 5 名）

参加者：合計 2 名（各回 1 名）

講 師：外部業者に委託

予算執行額：128,400 円

【博士後期課程及び博士課程学生向け英語講座】

▶英語プレゼンテーション・Q&A 実践トレーニング講座

開催予定日時：①2024 年 9 月 11 日（水）13：30～16：30

②2024 年 9 月 12 日（木）13：30～16：30

（※同じ内容の講座を、2 日に分けて実施予定）

形 式：オンライン（Zoom）

定 員：合計 10 名（各回 5 名）

⇒応募者不足により不催行

<7. その他>

(1) 学生への情報提供の充実

① 留学・国際交流パンフレットの作成、Web サイトの更新

国際化推進センターで実施している海外留学プログラム等の学内広報を目的にパンフレットを作成し、学生の父母、新入生、留学説明会参加者、及び希望する学生等へ配付している。父母懇談会やオープンキャンパスにおいても配付を行っている。

また、Web サイトの更新を定期的に行い、最新の情報を提供している。

国際化推進センター予算執行額：1,307,533 円

②チャットボットの導入・活用

2023 年 5 月から、チャットボットを運用している。チャットボットは本学ホームページ内及び LETUS に設置し、学生からの質問・要望を適宜 FAQ に反映させる形で活用している。

これにかかる費用は国際支援課予算から支出している。

予算執行額（国際支援課予算）：1,320,000 円

③LINE

学内広報強化の一環として、2018 年 6 月から LINE による情報配信を行っている。

2025 年 3 月 31 日時点で友達数（登録者数）は 1,679 人で、インターナショナルラウンジイベント、国際化推進センター各種事業募集などの情報を定期的にメッセージで発信している。

これにかかる費用は国際支援課予算から支出している。

予算執行額（国際支援課予算）：231,000 円

(2) 海外留学等における危機管理のための施策

J-TAS 利用

特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会（JCSOS）が提供する、派遣学生向け・教育機関向けの危機管理サービスを、J-TAS サービスと呼ぶ。

派遣学生向けには、海外留学生サポートサービス（日常のトラブルから緊急時の相談まで 24 時間 365 日受け付ける）や、医療アシスタンスサービス（日本人の看護師・救急医が 24 時間 365 日応対し、精神科を含む専門的医療相談をカバー）となっている。

大学向けには、派遣学生、大学、アシスタンス会社、保険会社と情報を共有することで一元化し、傷害・事故の際には、一報を受けたアシスタンス会社の判断で迅速な初動対応を行い、事故処理までを海外旅行保険（渡航者契約）、学校向け危機管理サポートなどと組み合わせて行う。

利用件数：344 件

国際化推進センター予算執行額：1,216,680 円

(3) 学外団体の利用

①トビタテ！留学 JAPAN 新日本代表プログラム

文部科学省では、2013 年度から日本の若者の海外留学を後押しする「トビタテ！留学 JAPAN」を官民共同で推進している。2020 年度までの実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で 2022 年度まで延長された第 1 ステージの事業では、本学では留学奨学金「日本代表プログラム」第 1 期～第 14 期への申請及び奨学金支給に関する支援を行ってきた。

コロナ禍で落ち込んだ留学生数をコロナ前の水準に早期に回復させることを目指し 2023 年度から 2027 年度までの 5 年間、第 2 ステージの実施が決定した。その一環である留学奨学金「新・日本代表プログラム」について、本学では引き続き申請及び奨学金支給に関する支援を行っている。

2024 年度（第 16 期）実績

申請者数：3 名

採択者数：2 名

予算執行額：国際化推進センター予算からの支出なし

②日本学生支援機構（JASSO）留学生支援事業

日本学生支援機構（JASSO）は、グローバル化が進展する中、留学生交流を推進するため、外国人留学生の受入・日本人学生の派遣の両面から奨学金の支給等の支援事業を実施しており、本学では国際化推進センターが申請に係る事務を担っている。

予算執行額：国際化推進センター予算からの支出なし

③ 日本学術振興会（JSPS）

日本学術振興会（JSPS）は、我が国の学術研究及び国際化の進展を図り、日本人研究者の海外派遣に係る事業や諸外国の優秀な研究者を招へいする事業を実施している。

以下の事業について本学では国際化推進センターが申請に係る事務を担っている。

【募集事業】

①研究者養成事業

▶海外特別研究員：2024 年度採択 0 件（申請 1 件）

▶若手研究者海外挑戦プログラム：2024 年度採択 1 件（申請 2 件）

②国際交流事業

▶外国人特別研究員（一般）：2024 年度採択 1 件（申請 9 件）

- ▶外国人特別研究員（欧米短期）：2024 年度採択 1 件（JSPS からの受入依頼 1 件、申請 3 件）
- ▶外国人招へい研究者（長期）：2024 年度採択 0 件（申請 1 件）
- ▶外国人招へい研究者（短期）：2024 年度採択 3 件（申請 3 件）

以下の事業については 2024 年度の申請者なし。

- ▶外国人特別研究員（サマー・プログラム）
- ▶外国人再招へい研究者
- ▶リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業
- ▶特定国派遣研究者
- ▶先端科学（FoS）シンポジウム

予算執行額：国際化推進センター予算からの支出なし

④JAFSA

国際化に資する種々の情報を収集するため、本学は JAFSA（国際教育交流協議会）に加盟している。JAFSA は、1968 年に設立され 2003 年に法人格を取得した特定非営利活動法人（NPO）で、300 以上の大学・教育機関・企業を会員団体とするネットワーク組織である。

提供されるサービス：人材育成（各種研修・セミナー等）、海外フェアへの参加等

国際化推進センター予算執行額：年会費 150,000 円

⑤JCSOS

学生や大学等の教育機関に対し、危機管理セミナーの実施や海外安全情報の提供等を行うことを通じて、海外で学ぶ日本人学生の安全を図ることを目的として設立された特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会（JCSOS）に加盟している。

提供されるサービス：J-TAS（JCSOS トータルアシスタンスサービス）、
危機管理コンサルティング

国際化推進センター予算執行額：年会費 100,000 円

⑥IAESTE

世界規模での技術的発展、国際理解と親善を促進し、質の高い実践的な滞在費支給型海外インターンシッププログラムを提供する非営利・非政府団体 IAESTE（イアエステ）に加盟し、本学内でのインターンを希望する学生を受入れている。IAESTE は、1948 年にイギリスで設立され 累計 35 万人以上のインターンシップ生を輩出し、世界 80 カ国以上に支部を持つ世界最大級のインターンシップ斡旋組織となっている。

提供されるサービス：海外インターンシップ学生受入れの斡旋

国際化推進センター予算執行額：年会費 400,000 円

⑦米国非営利教育財団 スタディ・アブロード・ファウンデーション (SAF)

約 180 を超える名門大学の国際的な大学ネットワークを有する SAF と連携し、本学学生の私費留学や短期留学を支援している。

2024 年度、同団体のプログラムに関する本学学生からの留学状況は次のとおり。

NO	形態	プログラム	派遣先国	学部	学科	出発日	帰国日
1	渡航	分野別短期研修	スペイン	理学部第一部	物理学科	2024年9月1日	2024年9月15日
2	渡航	分野別短期研修	スペイン	工学部	建築学科	2024年9月1日	2024年9月15日
3	渡航	語学	アメリカ	工学部	工業化学科	2024年10月4日	2025年3月1日
4	渡航	分野別短期研修	フランス	薬学部	生命創薬科学科	2025年3月9日	2025年3月23日
5	渡航	分野別短期研修	イタリア	理学部第一部	化学科	2025年3月10日	2025年3月23日

(4) 外国人留学生数

外国人留学生数の状況

【2024 年度実績】 844 名/ (2023 年度実績 834 名)

2024 年 5 月 1 日現在

国・地域名	学部生		大学院（修士）		大学院（博士）		非正規生		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
中国	312	153	85	27	19	2	7		605
韓国	126	35	5	5	1	1			173
台湾	6	2	3			1		1	13
フランス							6	3	9
マレーシア	4	3	2						9
バングラデシュ			2		3	1			6
ベトナム			3	1	2				6
タイ			1	1	1	2			5
インドネシア	2		1	1					4
インド			1			1			2
エジプト					1	1			2
アメリカ				1					1
イタリア	1								1
カナダ	1								1
カメルーン	1								1
ドイツ								1	1
ナイジェリア共和国					1				1
フィリピン						1			1
ペルー		1							1
ポーランド							1		1
モンゴル	1								1
合計	454	194	103	36	28	10	14	5	844

